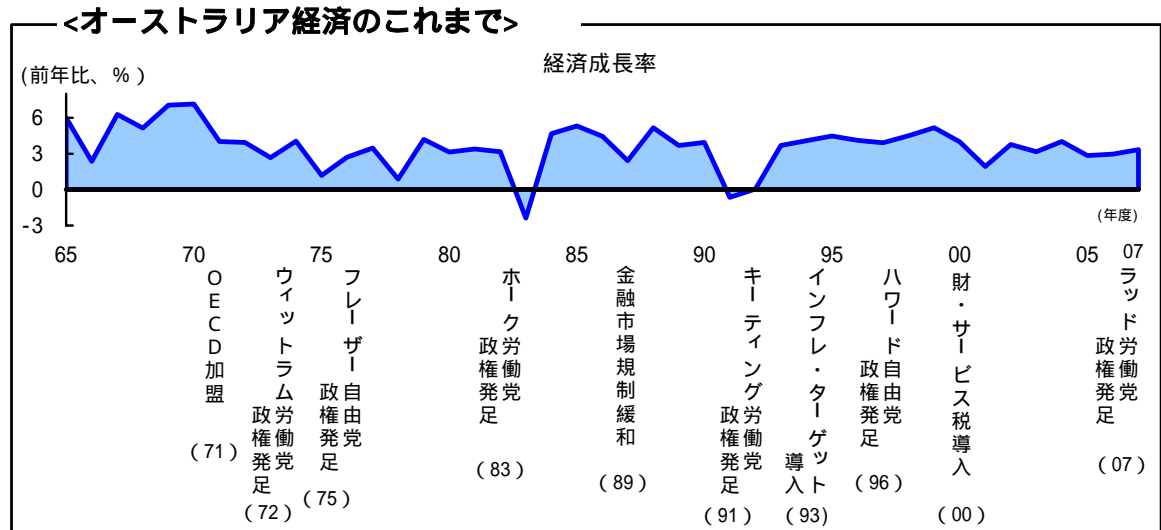


12 オーストラリア

Commonwealth of Australia

<2007/2008年度>

人口	2,076万人 (東京都の約1.6倍)	財政会計年度	7月～6月
一人当たりGDP	36,831 ドル	為替制度	変動相場制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 2.3% 2次産業 26.6% 3次産業 63.2%	通貨	オーストラリア・ドル 1米ドル=1.12オーストラリア・ドル
		面積	768.2万km ² (日本の約20倍)



オーストラリアの主要経済指標

		98～07年	07/08年度	2008年		09/10年度	2009年		民間機関 見通し
				08/09年度 政府見通し	IMF見通し		政府見通し	IMF見通し	
実質GDP	前年比%	3.6	3.7	2.0	2.5	2.3	2.2	実質GDP	
個人消費	同上	4.0	3.7	2.0	-	-	-	2008年	
民間投資	同上	6.6	10.6	-	-	-	-	平均 2.6	
鉱工業生産	同上	1.8	2.4	-	-	-	-	最大 2.6	
消費者物価	同上	2.6	3.4	3.5	4.6	3.0	3.6	最小 2.3	
失業率	%	6.2	4.2	5.0	-	-	-		
経常収支	億米ドル		609.5	-	-	-	-	2009年	
(GDP比)	%		(6.0)	(4.5)	-	-	-	平均 1.3	
財政収支	億米ドル		188.1	-	-	-	-	最大 2.2	
(GDP比、年度)	%		(1.9)	(0.5)	(1.8)	(0.6)	(1.6)	最小 0.2	
政府債務残高	億米ドル		429.2	-	-	-	-	(21 社)	
(GDP比、年度末)	%		(3.8)	(3.9)	-	(4.3)	-		

(備考) 1. オーストラリア統計局統計。財政収支及び政府債務残高、政府見通しは“Mid-Year Economic and Fiscal Outlook 2008-09”

(2008年10月)、IMFは“Regional Economic Outlook”(08年11月)による。

2. 年度ベースは、例えば、07/08年度については07年7月～08年6月。

3. 財政収支は発生主義ベース。政府債務残高は中央政府ネット値。

<2008～09年の経済>

2008年の経済成長率は、2.5%程度の見込みである(民間機関22社の平均2.6%(08年12月時点))。08年前半は、交易条件の改善を受けて設備投資が増加した一方で、年央から個人消費に減速がみられ、経済成長率は1～3月期前期比年率2.4%、4～6月期同1.4%となった。年後半になると、個人消費の鈍化に加え、商品価格の下落により純輸出がマイナスとなり7～9月期は同0.3%となった。政府は数次の利下げや景気対策の実施により景気を下支えしているが、資産価格の下落に伴う個人消費の減速や輸出の鈍化に加え、鉱業関連を中心とした雇用の悪化も懸念されることから、09年は1%程度の経済成長になると見込まれる(民間機関22社の平均1.3%(08年12月時点))(第2章第3節コラム2-4参照)。